

インマヌエル中目黒キリスト教会
2009年4月26日
聖日礼拝

五旬節に向かう①

「聖霊を送る約束」

ルカの福音書24章36-49節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

ルカの福音書 24章 36節- 49節

36 これらのことを話している間に、
イエスご自身が彼らの真中に
立たれた。

37 彼らは驚き恐れて、
霊を見ているのだと思った。

38 すると、イエスは言われた。
「なぜ取り乱しているのですか。
どうして心に疑いを
起こすのですか。」

39 わたしの手やわたしの足を見なさい。
まさしくわたしです。
わたしにさわって、
よく見なさい。
霊ならこんな肉や骨はありません。
わたしは持っています。」

41 それでも、彼らは、
うれしさのあまり
まだ信じられず、
不思議がっているので、
イエスは、
「ここに何か食べ物が
ありますか。」
と言われた。

42 それで、

焼いた魚を一切れ差し上げると、

43 イエスは、彼らの前で、

それを取って召し上がった。

44 さて、そこでイエスは言われた。

「わたしがまだあなたがたと
いっしょにいたころ、
あなたがたに話したことは
こうです。

わたしについて
モーセの律法と預言者と詩篇と
に書いてあることは、
必ず全部成就するということ
でした。」

45 そこで、イエスは、
聖書を悟らせるために
彼らの心を開いて、

46 こう言われた。

「次のように書いてあります。
キリストは苦しみを受け、
三日目に死人の中から
よみがえり、

47 その名によって、
罪の赦しを得させる悔い改めが、
エルサレムから始まって
あらゆる国の人々に
宣べ伝えられる。

48 あなたがたは、
これらのことの証人です。

49 さあ、わたしは、
わたしの父の約束して
くださったものを
あなたがたに送ります。
あなたがたは、
いと高き所から力を着せられる
までは、
都にとどまっていなさい。」

説教

五旬節に向かう①

「聖霊を送る約束」

ルカの福音書 24章 36節— 49節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「さあ、わたしは、
わたしの父の
約束してくださったものを
あなたがたに送ります。
あなたがたは、
いと高き所から
力を着せられるまでは、
都にとどまっていなさい。」

(ルカ24:49)

主の復活後の顕現					
	時期	場所	出会った人(々)	メッセージ	聖書箇所
1	復活日朝	墓の外	マグダラのマリヤ	なぜ泣くのか	ヨハネ20
2	復活日朝	墓の外	女たち	ガリラヤに行け	マタイ28
3	復活日午後	エマオ途上	クレオパともう一人	聖書は、メシアを予言している	ルカ24
4		(状況の記録なし)	ペテロ		ルカ24
5	復活日夕	エルサレムの集合場所	10弟子	宣教命令と聖霊の約束	ルカ24、ヨハネ20
6	一週後の夕	エルサレムの集合場所	11弟子	見ないで信じなさい	ヨハネ20
7		ガリラヤの岸辺	7弟子	羊を飼いなさい	ヨハネ21
8		ガリラヤの山	500人以上の弟子	宣教命令と臨在の約束	マタイ28
9			弟のヤコブ		I コリント15
10	40日後	エルサレムの集合場所	120人程の弟子達	聖霊の約束	使徒1
11	40日後	オリーブ山	121人程の弟子達	再臨の約束	使徒1

2. 「聖霊の約束」の背景

- ・ 時：復活日の夜
- ・ 場所：最後の晩餐の家
- ・ 状況：希望と恐怖が半々
- ・ 主の現われ：驚き・恐れ・疑い、
そして喜びを齎す
- ・ 「平安」のメッセージ
- ・ それに続く宣教命令と
聖霊の約束(ヨハネ20:21-23)

3. 宣教命令が与えられる

- 四つの福音書に共通
- 聖書に基づく救い：
「モーセの律法と預言者と詩篇」
- 成し遂げられた救い：
罪の身代わりの死、
確かさの保証としての復活

- 罪の赦しを齎す悔い改め：
信じる者に与えられる
赦しと聖潔
- エルサレムから全世界に：
世界大の福音
- 証人としての宣教者：
体験に基づく証言

4. 聖霊賦与が約束される

- もう一人の助け主として
(ヨハネ14:16-17)
- キリストを証する霊として
(ヨハネ14:26、15:26)
- 力を与える霊として
(49節、使徒1:8)

5. 「都に留まる」とは

- 活動よりも心：
Doing よりもBeing
- 祈りと待ち望み：
無力さの自覚が出発点
- 約束に基づく（ヨハネ16:7）
- 共に求める姿勢：
不一致の克服が鍵

終わりに：

必要を認め、
切なる思いで待ち望もう